令和2年度おかやま協働のまちづくり賞応募用紙

令和 2 年 7 月 28 日

岡山市長 様

応募者代表 団体名 竜之口学区栄養改善協議会 氏 名 米田 正代

令和2年度「おかやま協働のまちづくり賞」に応募します。

募集テーマ:「地域と食と未来」

秀朱ナーマ:「地域で	- ACAM
取組の名称	雄町米 酒まんじゅう
取組の概要 インターネット投票を行うサイトにそのまま掲載します。 今年のテーマとの関連がわかるよう、目的及び取組概要、アピールポイントを300字(句読点含む)以内で記載してください。	ふれあい夏まつり in 竜之口実行委員会は、平成 24 年度岡山市区づくり推進事業の審査会に於いて、審査員より地域の特産品を活用した竜之口グルメに取組むよう提案を受けました。 栄養改善協議会・婦人会等が様々な提案の中から選んだのは、竜之口の特産物雄町米とピオーネでした。特に雄町米は酒米として全国に知られています。それら素材を活かしたグルメに挑戦することとし、さらに酒を活かす酒まんじゅうの取組に決まりました。あんこにするピオーネをジャムにするため苦心惨憺し、食育の栄養改善協議会の皆が試行錯誤した結果、レシピ完成までに約 2 年を費やし、ふれあい夏まつり in 竜之口"食育サロン酒まんじゅう"の出店にこぎつけました。
成果・効果 取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の 状況、また関連した地域へ の効果や変化などを書い てください。	 ・夏まつりに酒まんじゅうの出店することを目標に、試行錯誤の上約2年を要して出店しました。 ・お客様から大変おいしいとの反応等あり、開発メンバーは皆、大変喜んで感激極まり泣き出す人もありました。 ・協働して一つの商品を開発することが、栄養委員のさらに太い絆を形成することに繋がりました。 ・各委員が、試作する工程をメモし、レシピとして作成した事で、皆でレシピの見直しや単価・数量等の改善案を出し合う事ができ、より一層商品づくりの意欲が増しました。 ・地域の皆さんからは様々なイベント時には、酒まんじゅうの配給を望まれるようになりました。

〔様式1〕 協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	雄町米 酒まんじゅう		
テーマとの関連	 ◎取組とテーマが合致している点を書いてください。 SDGs12 つくる責任つかう責任 1. 地域の特産品(ピオーネ・雄町米)を素材に、地元産グルメ商品開発に挑戦しています。 2. 農業の持続活動を支援しています。 3. 食品のロスを削減するため、通常では売り物にならず処分する未成熟のブドウを活用しました。 		
取組の目的・目標	 ◎取組の目的・目標を社会課題の具体的な状況をふまえて書いてください。 1. 地域の特産品を作り出すことで、地元への愛着心を高め、栄養改善活動の励みとする。 2. 竜之ログルメを開発し、2 年後には出店へと繋げる事を目標とし、活動の安定を図る。 3. 農業(ピオーネづくり)を継承したメンバーの活動持続支援のために、熟れ過ぎた生産物の有効活用を行う。 4. 食品ロス防止の一端を担う事で、地域での食育を広めていく。 		
取組の内容	◎取組の内容について具体的に書いてください。1 取組の対象:対象地域、対象者、対象人数など 竜之口学区は人口約7800人で、学区には竜之口小学校があります。古くより酒米で有名な雄町米の産地でありマスカットピオーネの産地でもありますが、住宅地もある田畑と宅地の混在した地域です。		
	2 活動内容、実施方法など 平成 26 年のふれあい夏まつり in 竜之口へ出店し、酒まんじゅうの試食品 200 個を準備し、アンケート用紙 を添えて大人を中心に 200 人に 1 個 100 円で配布しました。		
	【商品開発に至るまで】 ・区づくり審査会にて指摘された、地元産の特産品開発をするべく、栄養委員を始めとする多くの方の協力でレシピ開発に取組みました。		
	・地域のブドウ農家と協力し、材料である「ピオーネ」の入手に努めましたが、最盛期と重なって材料費が 高価になるという問題がありました。解決に向けて販売のできない未成熟のぶどうを活用するアイディア に至り、食品ロス問題と材料費削減の両方の解決にたどり着きました。		
	・最適なゼリーの硬さに至るまでのレシピの検討、材料のゼリーの保存の問題もメンバーの間で意見を出し 合う事で解決する事ができました。		
	【夏祭り当日の販売について】 ・夏まつり当日に向けて栄養委員 25 名は数日前から役割分担し、当日は早朝よりコミユニティハウスに集合。 各役割に分かれて効率よくまんじゅうを製作していきます。 仕上に町内のキャラクターである"たつにぃ"のシールを貼り、地域の愛着ある商品へと完成させます。		
	・16 時に会場に持ち込んだまんじゅうは、17 時開店時には長い列ができており、開店後わずか数分で売り切れるほどの人気でした。		
	・アンケートからも様々な反応が有り、次年度に活かす事にしました。		
	3 工夫した点や取組の特徴 ・素材のピオーネの最盛期が8月であり、試作品をつくるにも高価で数も必要という事で、当初原材料費が高くつき、スタート時には活動を見合わせざるを得ませんでしたが、そこから試行錯誤の末2年の歳月を経て、随時製作できる体制ができています。		
	・また入手したピオーネは、その年限りではなく翌年も利用できるようにするため、冷凍保存できるように加工・保存。管理のためにビニール袋に約2cmに平らに入れ冷凍保存するようにしました。		
	・ピオーネの入手方法に工夫があります。出荷時期を過ぎても青いままのぶどうが売り物にならない事に 着目し、ジャム加工する事で品質にも問題ない事を確認しました。 本来は活かされなかったものを利用できるようにした事と、長期保存、コスト削減をいっぺんに解決した 事がポイントで、ジャムと白あんとの組み合わせ(最適な硬さの模素)と相まって、この地域らしさと オリジナルな商品へと作り上げる事ができました。		
	・地元小学校で制作したキャラクター(たつにい)をシールにして、パッケージに貼る事で親しみやすさを 出しています。		

	◎取組をWEB等で告知している場合はそのURLを書いてください。 様々な活動を竜之口学区電子町内会で公開しています。			
取組の実施期間 今後の活動展開 など	始期: 平成 25 年 4 月~	■ 継続予定□ 令和 年 月終了□ 令和 年 月頃終了予定該当するものに☑し必要事項を記入してください。		
	◎今後の成果の普及や活動展開などについて書いてください。 酒まんじゅうを更に製品化を進めて行く事、昨年からピオーネのジャムゼリーを使ったクッキーを商品化、夏まつりで200袋販売しました。現在スィーツの商品化を進めています。栄養改善協議会は高齢者が多いですが最近では若いお母さんの加入もあります。酒まんじゅう・クッキー・スイーツの単価・数量等問題点も有りますが、皆で知恵を出し合い近郊のスーパー等へ定期的に陳列し販売する事が最大の目標です。			

	◎協働したことにより達成できたことや得られた効果を書いてください。					
協働による	夏まつりは!	夏まつりは学区最大のイベントです、出店は学区町内会・諸団体が協働で行っています、食物を扱				
効 果	う店は栄養	う店は栄養改善協議会の指導で衛生管理を徹底しています。				
	竜之ログル	メの出品で多方面からのお客様も多くあります。				
	団体名	竜之口学区連合町内会				
	団体種別	■住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他()				
	役 割	夏まつりを主催、広報				
	団体名	竜之口学区コミュニティ協議会				
協働団体とその役割 ※協働団体が他分野にわたっていることや、各団体の関わりの深さも評	団体種別	■住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ()				
	役 割	コミュニティハウス活動の拠点、運営及び調整				
	団体名	竜之口地区社会福祉協議会				
	団体種別	■住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ()				
	役 割	広報・岡山市保健所・栄養士・岡山市包括支援センター等と連携				
	団体名	竜之口学区婦人会				
	団体種別	■住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ()				
	役 割	広報紙を作成・配布・当日の手伝い				
	団体名	竜之口学区愛育委員会				
価の対象となりま	団体種別	■住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 □行政 □その他 ()				
す。 ※足らない場合は・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	役 割	年2回新聞を発行				
	団体名	岡山市立竜之口小学校				
欄を追加してくだ さい。	団体種別	□住民自治組織 □市民活動団体 □企業 ■教育機関 □行政 □その他 ()				
۵۰۰°	役 割	夏まつり会場 キァラクター「たつにぃ」を提供				
	団体名	岡山市保健所				
	団体種別	□住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 ■行政 □その他 ()				
	役 割	衛生管理等の指導				
	団体名	ふれあい夏まつり in 竜之口実行委員会				
	団体種別	■住民自治組織 □市民活動団体 □企業 □教育機関 ■行政 □その他 ()				
	役 割	ふれあい夏まつり in 竜之口を開催				